

第11回 平成28年熊本地震復旧・復興本部会議 次第

令和6年4月5日（金） 15:00～

於：本館5階 知事応接室

1 開 会

2 黙 禱

3 本部長（知事）挨拶

4 熊本地震からの創造的復興の状況報告（各部局より）

5 意見交換

6 閉 会

※会議終了後、知事取材対応

創造的復興に向けた 「重点10項目」等について

令和6年4月
熊 本 県

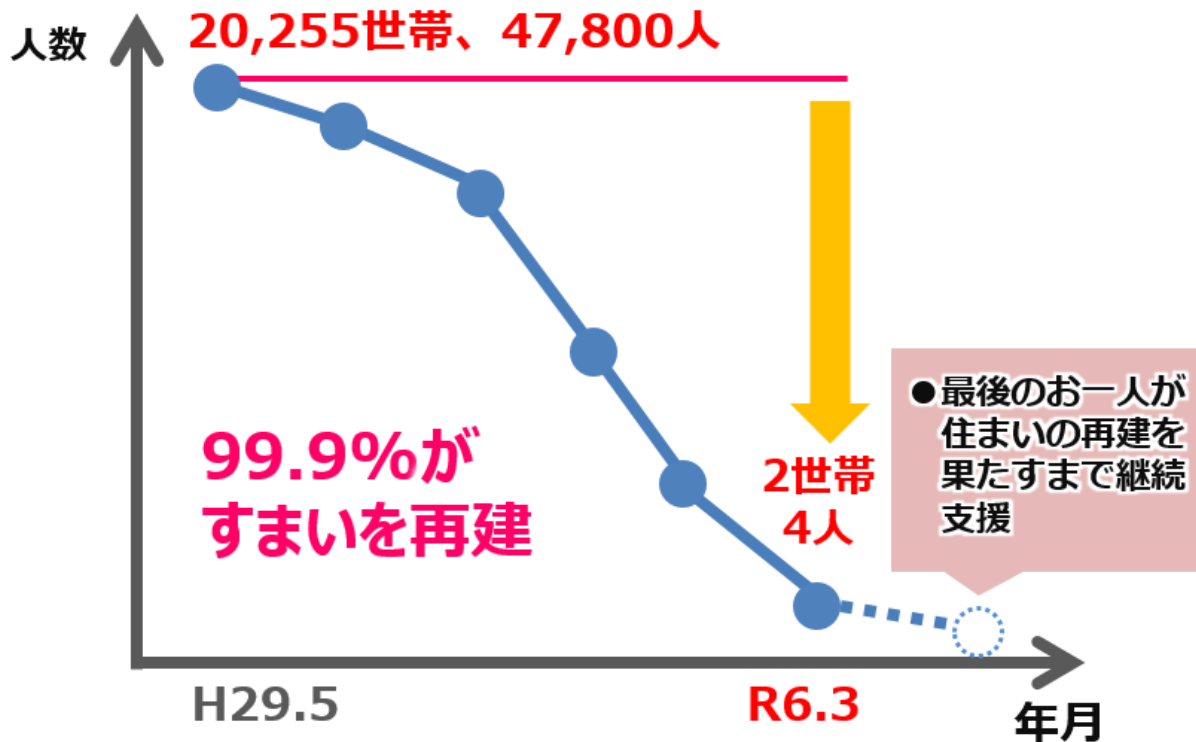
1. 「すまい」の再建（2027年度完了予定）
 2. 災害廃棄物の処理（完了）
 3. 阿蘇へのアクセスルートの回復（完了）
 4. 熊本城の復旧（2052年度完了予定）
 5. 益城町の復興まちづくり（2027年度完了予定）
 6. 被災企業の事業再建（2024年度完了予定）
 7. 被災農家の営農再開（完了）
 8. 大空港構想NextStageの実行（一部完了）
 9. 八代港のクルーズ拠点整備（完了）
 10. 国際スポーツ大会の成功（完了）
-
11. 熊本地震震災ミュージアム（完成）
 12. ONE PIECE熊本復興プロジェクト（完成）

1. 「すまい」の再建

令和5年3月末、災害救助法による応急仮設住宅の供与終了

- ・ピーク時（平成29年5月末）、20,255世帯、47,800人が仮設住宅に入居
- ・益城町の土地区画整理事業の影響により自宅再建ができない方々（2世帯、4人）には、県・益城町の独自支援により、仮設住宅よりも快適な住環境を提供
- ・今後も益城町と連携し、最後のお一人が住まいの再建を果たすまで支援を継続

仮設住宅入居者数



災害救助法から県・町の独自支援



仮設住宅から災害公営住宅へ無償入居



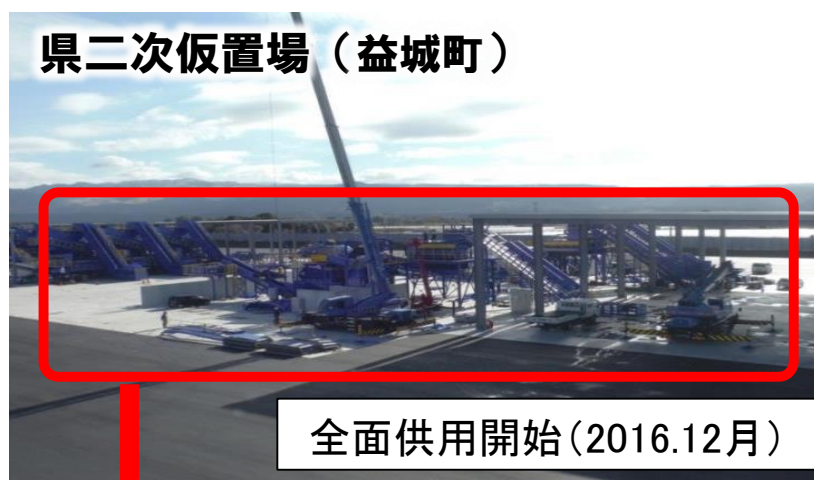
2. 災害廃棄物の処理

完了

◆2018年12月末に全ての市町村で公費解体と災害廃棄物の処理が完了。

- ①公費解体済数: 35, 675棟
- ②災害廃棄物処理量: 約311万トン 再生利用率: 78.2%〔目標の70%以上を達成〕

地震直後(2016年)



処理完了後



3. 阿蘇へのアクセスルートの回復～道路～ **完了**

国道57号／国道325号阿蘇大橋の早期復旧

地震直後(2016年)



2020年10月3日 開通

2021年3月7日開通

現在(2022年)



3. 阿蘇へのアクセスルートの回復～鉄道～

完了

P5

JR豊肥本線



◀ JR豊肥本線
沿線斜面崩壊等により
肥後大津駅～阿蘇駅間が
不通に

南阿蘇鉄道▶

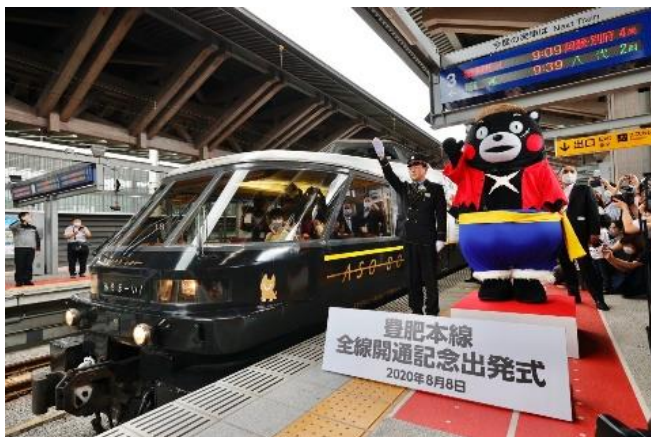
トンネルや橋梁に甚大な被害
が発生し、立野駅～中松駅
間で運休

南阿蘇鉄道



地震直後
2016年

現在
2024年



◀ JR豊肥本線
2019年度末 国・県工事概成
2020年8月8日
全線運行再開

南阿蘇鉄道▶

2022年4月 (一社)南阿蘇鉄道管理機構設立、2022年度 復旧工事完了
→ 2023年4月から上下分離方式に転換

2023年7月15日全線運行再開、再開同時のJR豊肥本線乗入れ開始



4. 熊本城の復旧

地震直後（2016年）



2016年4月22日 頼当御門から天守閣方面



2016年4月22日 飯田丸五階櫓被災状況

現在（2024年）



2023年12月に復旧した監物櫓



公開中の特別見学通路

【今後の復旧の見込み】

- ・ 令和14年度 宇土櫓、本丸御殿の復旧完了
- ・ 令和24年度 全ての重要文化財建造物及び主要区域の復旧完了
- ・ 令和34年度 全ての復旧が完了

5. 益城町の復興まちづくり

県道熊本高森線4車線化(約3.8km)

2025年度事業完了を目標

地震直後(2016年)

地震で県道沿道の家屋等が倒壊し、緊急・応急活動等に大きな支障が発生



被災状況



被災状況

現在(2024年)

- ・ 起点側(熊本市側)から古閑交差点までの約1.0km区間を供用済
- ・ 今月14日、新たに惣領交差点までの約0.6km区間を供用開始予定
- ・ 令和7年度(2025年度)中の全線供用に向けて、引き続き工事を推進



写真① 益城町側

熊本市側

供用済区間(広崎地区)



写真②

熊本市側 ※3月21日時点

4月14日 供用予定区間(福富地区)

5. 益城町の復興まちづくり

益城中央被災市街地復興土地区画整理事業 (約28.3ha)

2027年度事業完了を目標

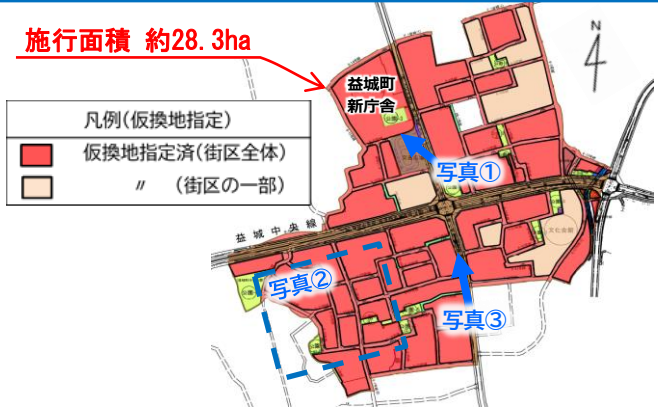
地震直後 (2016年)

地震による家屋倒壊で生活道路の交通機能が喪失するなど、防災面の課題が発生



現在 (2024年)

- ・ 仮換地は約9割(430画地/467画地)を指定、うち約6割(285画地)で宅地造成工事に着手、約4割(191画地)は権利者へ引渡し済
- ・ 事業区域内では、町の復興まちづくりセンターや新庁舎が供用済
- ・ 令和9年度(2027年度)の事業完了に向けて、計画的に事業を推進



すまいの再建状況 (宮園地区)

6. 被災企業の事業再建

グループ補助金による復旧支援

グループ補助金により、被災した中小企業等の施設や設備の復旧・整備、並びに商業機能の復旧促進を支援（2024年3月末現在）

506グループ認定
構成者数

9,452件

※補助金申請を要しないテナント等が含まれる

補助金申請件数
(予定含む)

4,704件

補助金の交付決定

4,699件

交付決定済 99.9%

復旧完了

4,699件

復旧完了済 99.9%

地震直後（2016年）

～事業者復旧の一例～



現在（2024年）

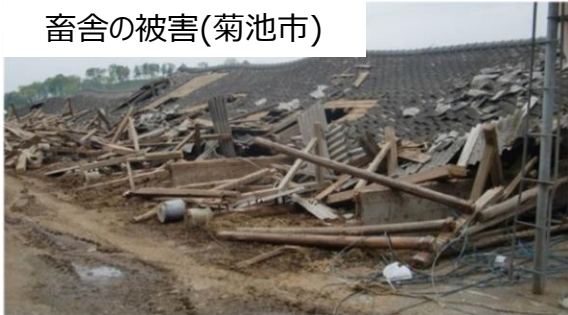


7. 被災農家の営農再開

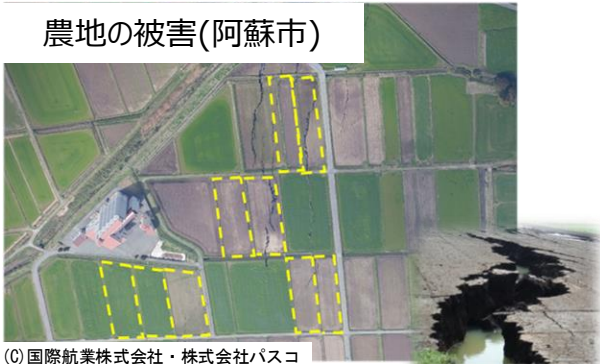
地震直後（2016年）

地震により農地、農業用施設に被害が生じ、多くの農家が営農継続困難となった。

畜舎の被害(菊池市)



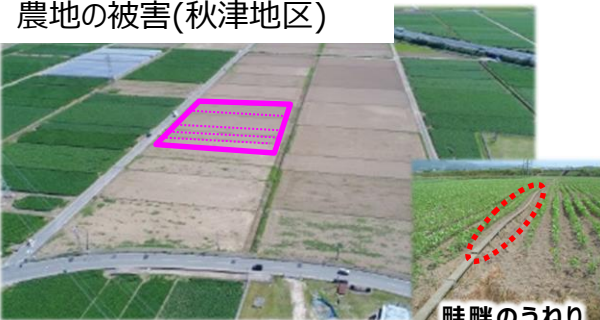
農地の被害(阿蘇市)



(C)国際航業株式会社・株式会社バスコ

農地の地割れ

農地の被害(秋津地区)



畦畔のうねり

創造的復興

現在（2024年）

【進捗状況】

被災農家の営農再開：令和2年末までに**営農再開100%**
創造的復興による農地の大区画化：3地区で**施工完了**

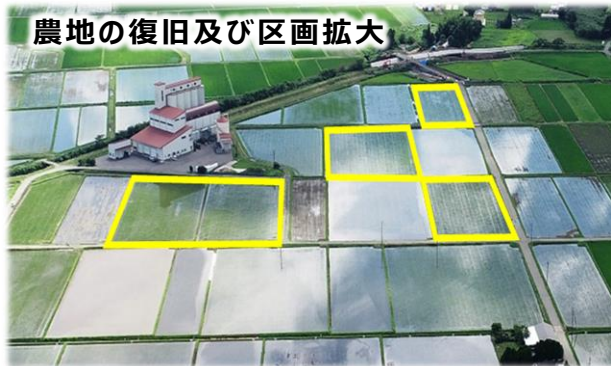
農業用施設（畜舎）の復興



営農再開



農地の復旧及び区画拡大



農地の復旧及び区画拡大



大区画化
被災前の5% ⇒ 81%
集積率
被災前の22% ⇒ 53%



秋津地区災害復旧事業竣工記念式典

7. 被災農家の営農再開

取組みの概要

- 熊本地震の農地等災害復旧事業については、**大切畑ダム（西原村）以外は全て完了し、大切畑ダムについても熊本地震からの復旧の「総仕上げ」として、令和8年度の供用開始**に向けて最後まで着実に工事を実施。
- 今後とも、町村と密に連携し、生産者の意向に沿えるよう最善を尽くして参ります。

大切畑ダム（西原村）の取組み



ダム工事の実施



令和8年度供用開始見込み

8. 大空港構想NextStageの実行

コンセッション方式の導入による空港ビルの創造的復興



地震直後からの取組み（～2022年）

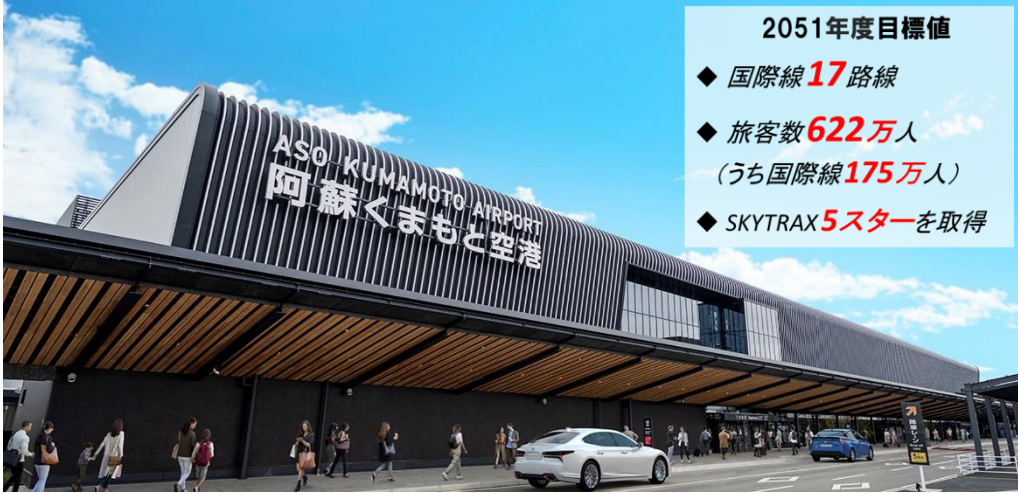


2016.12
コンセッション方式
による国内線・国際線
ターミナルビルの一体的
整備・耐震化を表明

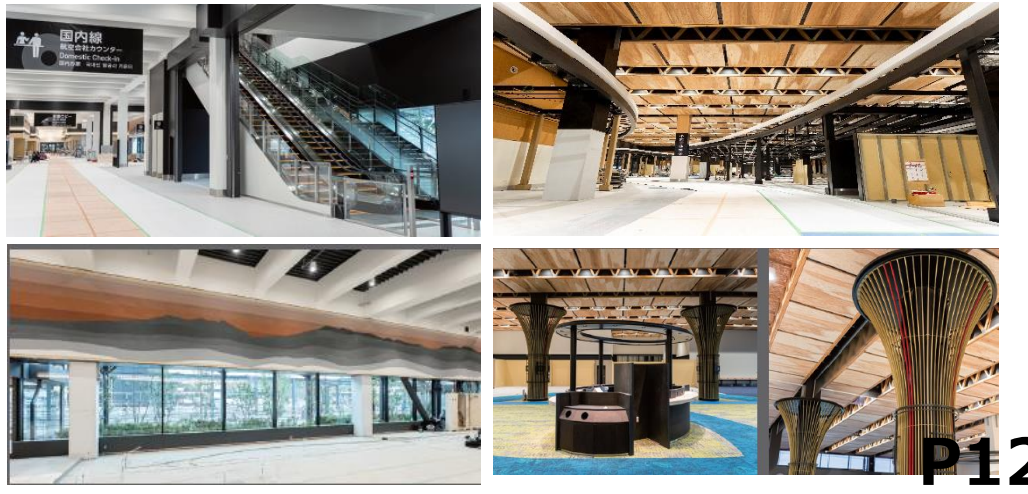
- 2019.3 優先交渉権者選定（代表企業：三井不動産（株））
- 2019.4 空港の運営会社となる熊本国際空港（株）設立
- 2020.4.1～ 熊本国際空港（株）による空港運営事業開始
- 2020.4.7～ 国内線別棟ビル供用開始
- 2021.1.15～ 新旅客ターミナルビル着工



2023年3月23日 国内線・国際線一体型の新旅客ターミナルビル供用開始



- 2051年度目標値
- ◆ 国際線17路線
 - ◆ 旅客数622万人
(うち国際線175万人)
 - ◆ SKYTRAX5スターを取得



8. 大空港構想NextStageの実行

空港アクセス鉄道の実現に向けた取り組み

「速達性」の確保

所要時間が「大幅に短縮」

「定時性」の確保

所要時間を「正確に把握」

熊本駅～空港を約40分で結ぶ
鉄道の実現に向け加速化

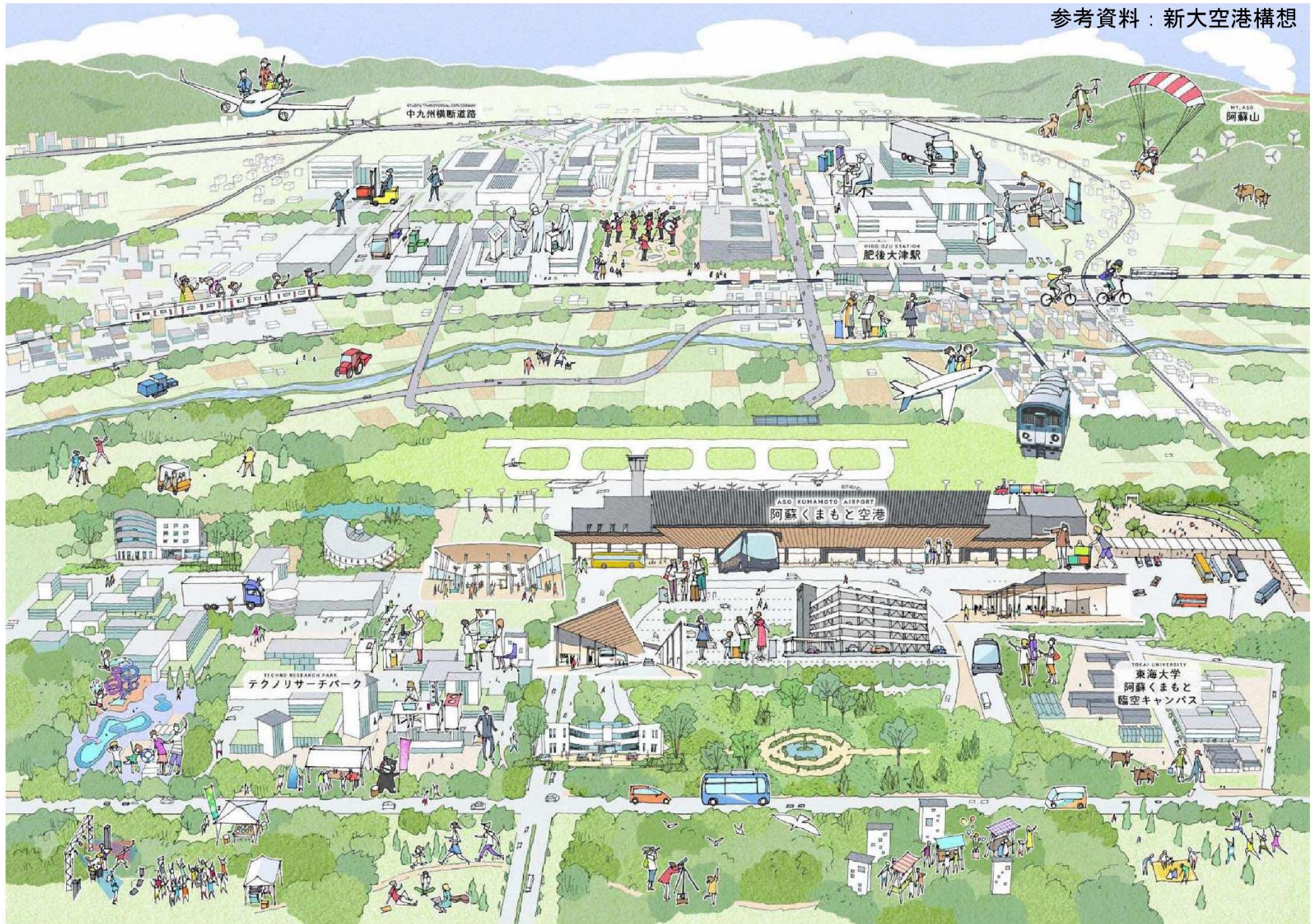
鉄道で
世界に誇る
阿蘇へ

【空港アクセスの課題】

- ・現状バスで約60分
- ・朝夕の混雑時は、遅延が恒常化

「大空港構想」の実現へ





9. 八代港のクルーズ拠点整備

完了

P15

国

- ①クルーズ専用岸壁
(一部耐震強化岸壁)【延長410m】
 - ・年間365日の受け入れが可能
 - ・世界最大22万t級のクルーズ船受け入れが可能

ロイヤルカリビアン社

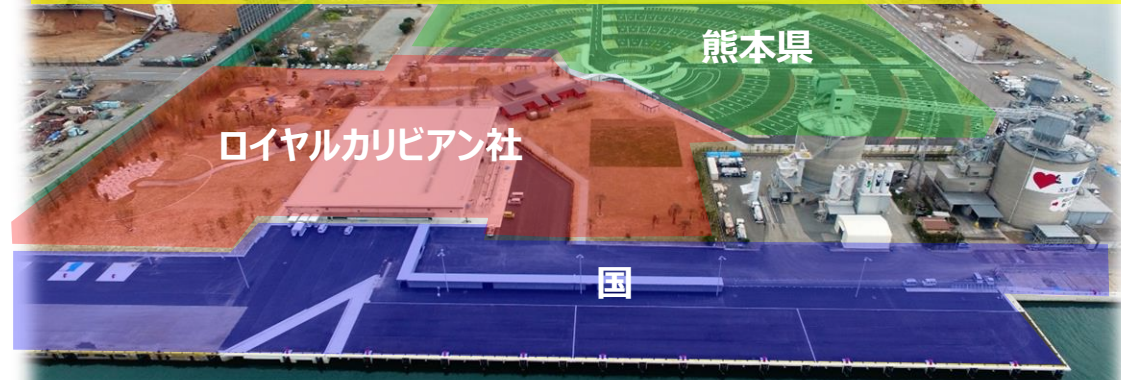
- ②旅客ターミナル
【延べ床面積 約3,600㎡】
 - ・出入国時の手続き時間等が短縮
- ③くまモンパーク
 - ・ビッグくまモン (6m)
 - ・日本庭園
 - ・くまモン合唱隊 (54体) など

熊本県

- ④駐車エリア【面積約4.4ha】
 - ・大型バス 最大150台の駐車可
 - ・乗用車等 最大600台の駐車可

くまモンポート八代 (2020年3月完成)

★土・日・祝限定で開園 ()内は入園可能対象者
・令和2年10月31日～(八代市民) ・11月28日～(県民)
・令和3年10月23日～(全国)



10. 国際スポーツ大会の成功

完了

2019女子ハンドボール世界選手権大会

2019年11月30日(土)～12月15日(日) 県内5会場

《参加国》 24カ国 計96試合

■ 大会結果(順位) 日本10位！



優勝 オランダ 写真提供:JHA

観戦者数 315,748人



準優勝 スペイン



3位 ロシア

■ 経済波及効果

2019女子ハンドボール世界選手権大会開催に係る経済波及効果

経済波及効果 ※()は試算時	第一次波及効果	第二次波及効果
98.52億円 (91.58億円)	81.93億円 (76.35億円)	16.60億円 (15.23億円)

ラグビーワールドカップ2019™

熊本で2試合開催



フランス v トンガ
・2019年10月6日(日)
入場者数:28,477人



ウェールズ v ウルグアイ
・2019年10月13日(日)
入場者数:27,317人



■ 経済波及効果

ラグビーワールドカップ2019日本大会熊本開催に係る経済波及効果

経済波及効果 ※()は試算時	第一次波及効果	第二次波及効果
106.76億円 (97.91億円)	89.65億円 (82.23億円)	17.12億円 (15.67億円)

熊本地震関連の資料を記録・整理・蓄積し後世に遺す

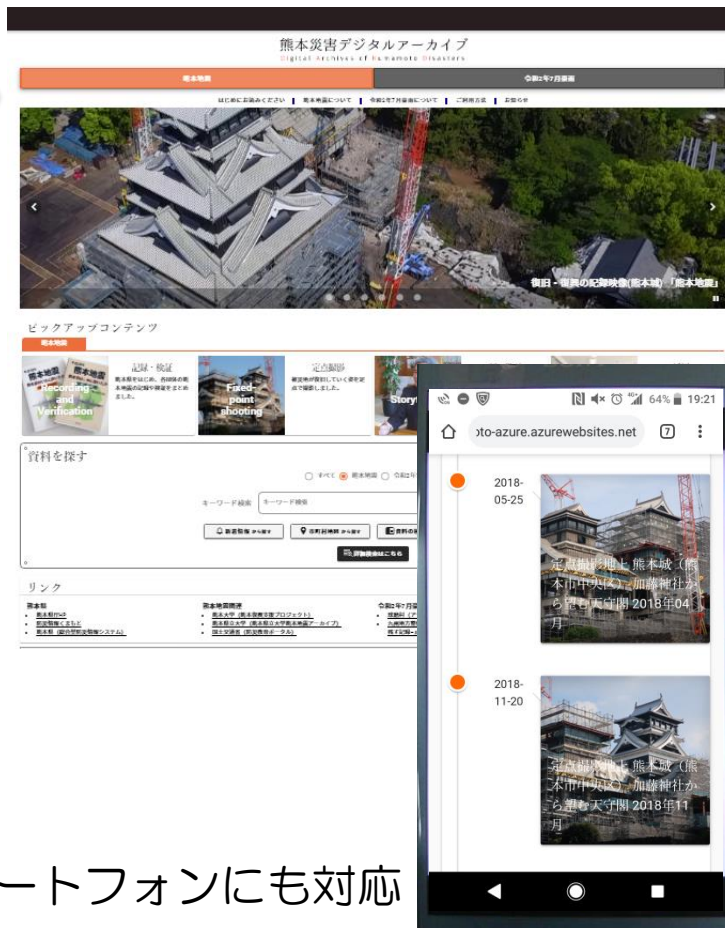
行政機関、大学、企業、 団体等の協力を得て収集

- 災害対策本部会議資料
- 被害、避難生活、復旧・復興などの写真
- 各団体がまとめた検証・記録など



専用のウェブサイトで公開

<https://www.kumamoto-archive.jp/>



利用

- 防災・減災対策
- 教育、研究
- アーカイブサイト内の資料を使用した啓発映像の制作など



スマートフォンにも対応

- ・令和6年3月末で約21万点の資料を掲載
- ・知事・市町村長インタビューや啓発映像なども掲載

【熊本地震震災ミュージアム】

完成

体験・展示施設「KIOKU」

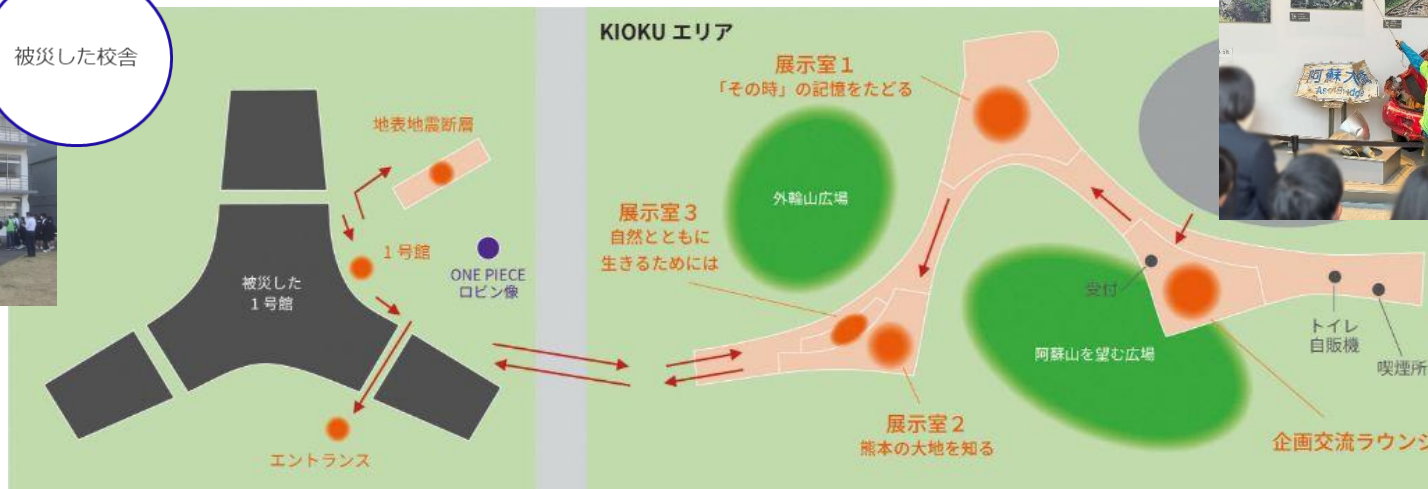
熊本地震の記憶や経験、得られた教訓を後世に伝えるため、震災ミュージアムの中核拠点（南阿蘇村）に令和5年7月15日、KIOKU（展示施設）をオープン

各種解説映像や震災遺物の展示、語り部との交流などを通して、熊本地震を追体験するとともに、地震の発生メカニズムや熊本地震から得られた教訓を分かりやすく伝える。

あわせて、自然の恵みや熊本の魅力も発信する。



被災した校舎



熊本地震の震災遺物実物展示



ロビン像



地震の教訓を自分事化するパネル展示

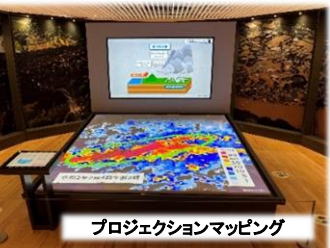


地形ジオラマと熊本の自然の魅力解説展示

【熊本地震震災ミュージアム】防災センター **完成** P19

県防災センター 1階展示学習室に令和5年5月17日オープン

- 熊本地震や令和2年7月豪雨など本県の過去の自然災害による被害状況や、災害発生のメカニズム、防災の取組などを、展示パネルやプロジェクションマッピング、VRなどで紹介。
- 防災講話も実施しており、学生、地域の自治会や自主防災組織など、来室者の希望に合わせた研修コースをスタッフが案内。
- 過去の災害の経験・教訓を次の世代に引き継ぎ、自然を守り、自然を正しく畏（おそ）れ、ひとりひとりが取るべき行動を学び、忘れないようにすることを目的として、「くまもと防災宣言」を策定。



くまもと防災宣言

私たちは、近年の世界的な異常気象の中、平成24年熊本広域大水害や平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨と何度も大きな災害にあってきました。

そのたびに、混乱と戸惑いを経験しながらも、みんなで手を取り合い、苦難に立ち向かっていきました。

この経験や教訓を次の世代に引き継ぎ、自然を守り、自然を正しく畏（おそ）れ、ひとりひとりが取るべき行動を学び、忘れないようにするとともに、地域の中でつながり、防災の取組を続けていくことが重要です。

そこで、ここに「くまもと防災宣言」を定めます。

- ひとりひとりが、災害から自分の命を守るため、**早めの避難を心がけます**
- もしもの時に備えるため、**家族や地域で話し合います**
- 困っている人を支えるため、**地域で声を掛け合います**
- 誰一人取り残さない社会を実現するため、**県民総ぐるみで防災活動に取り組みます**

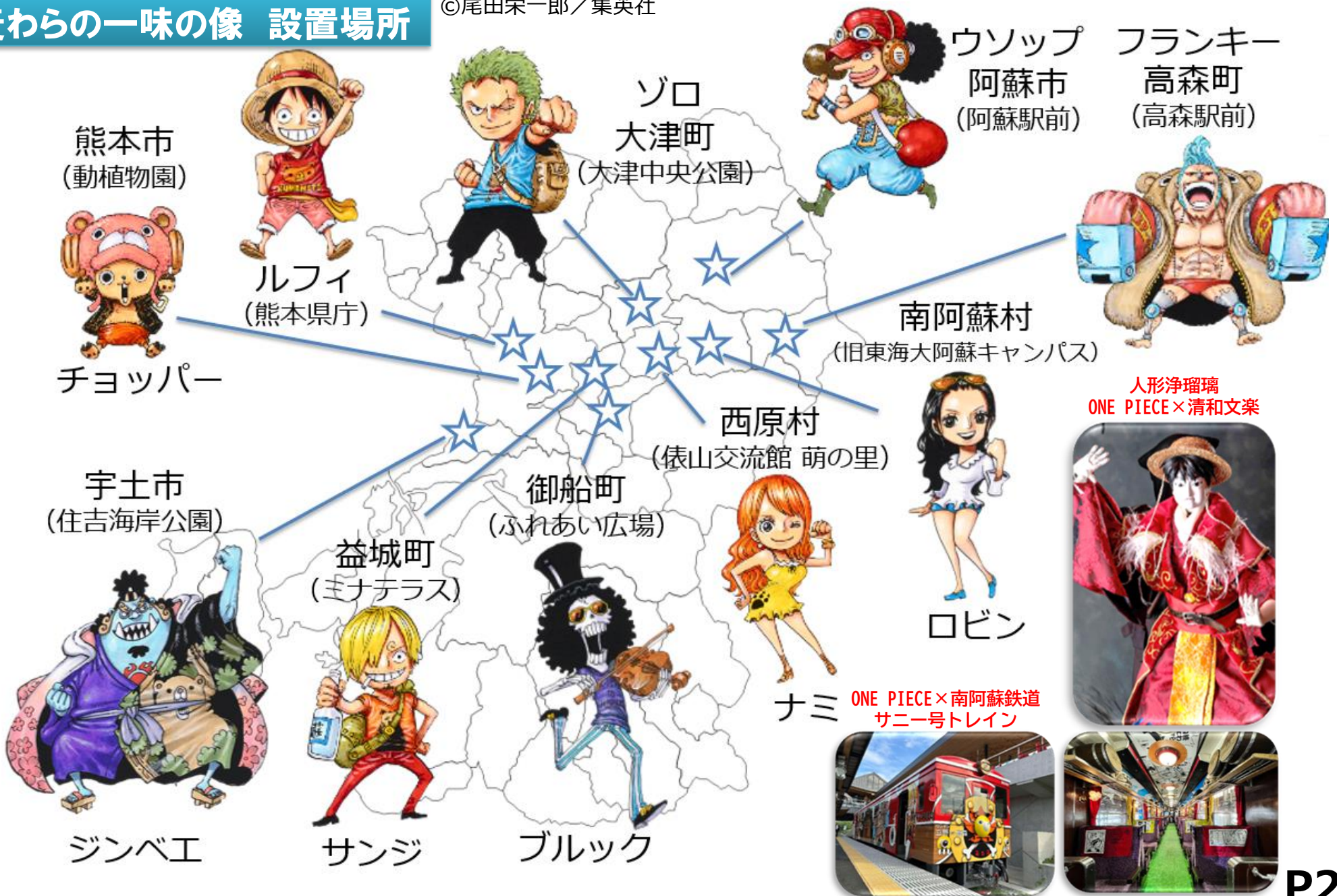
命と自然を守る

【ONE PIECE熊本復興プロジェクト】

完成

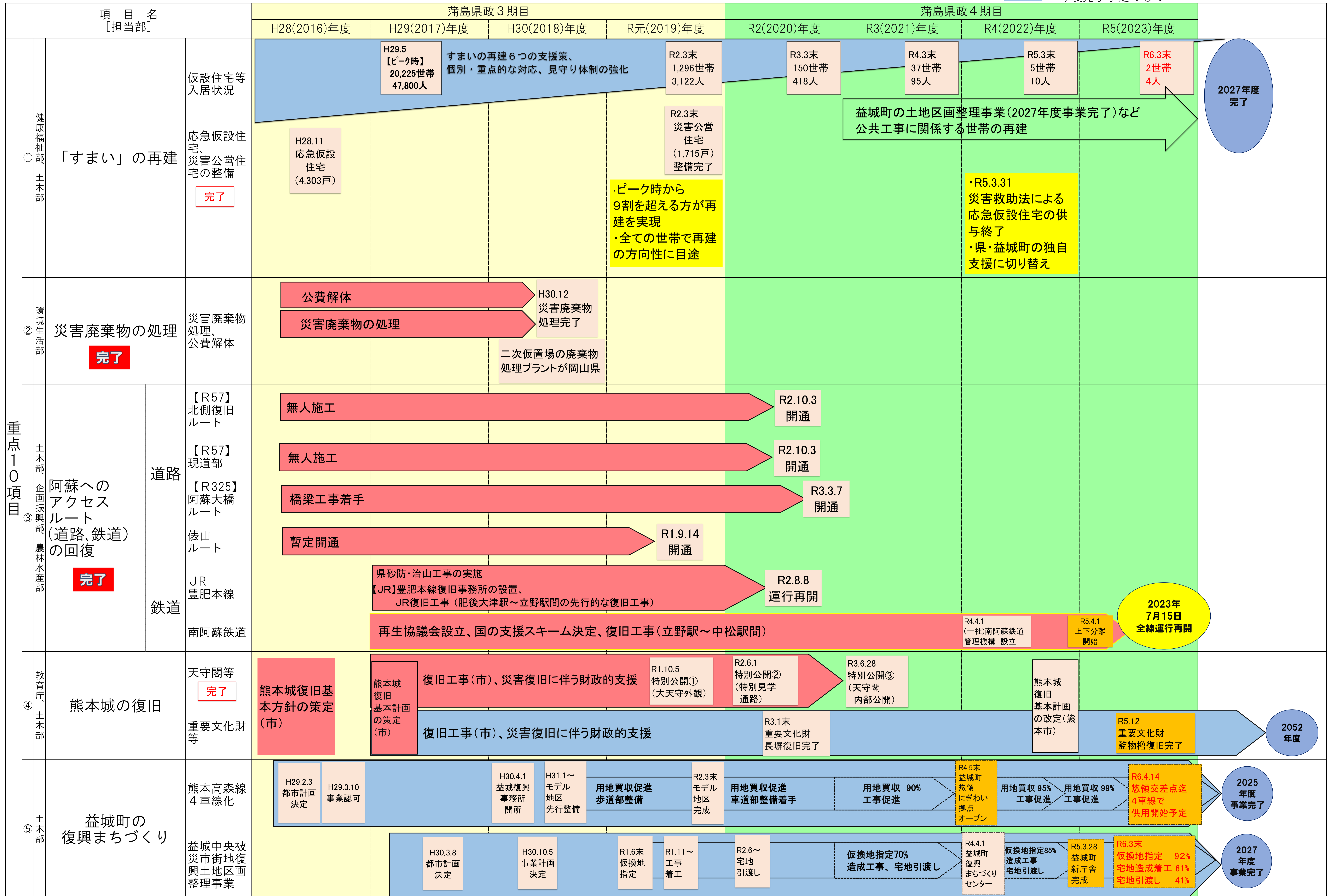
麦わらの一味の像 設置場所

©尾田栄一郎／集英社



～誰一人取り残さないくまもとづくり～

既完了したもの
今後完了予定のもの



～誰一人取り残さないくまもとづくり～

既に完了したもの
今後完了予定のもの

項目名 [担当部]		蒲島県政3期目				蒲島県政4期目																							
		H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度																				
⑥ 商工労働部	被災企業の事業再建	グループ補助金による施設・設備の復旧				R2.3末 交付決定率: 99.7% 事業完了率: 98.9%	R3.3末 交付決定率: 99.8% 事業完了率: 99.7%	グループ補助金と同スキームの県単独事業による支援(残り5件)		2024年度末 復旧完了																			
		制度融資による資金繰り支援等				R4.3末 交付決定率: 99.8% 事業完了率: 99.8%		R5.3末 交付決定率: 99.9% 事業完了率: 99.9%	R6.3末 交付決定率: 99.9% 復旧完了率: 99.9%																				
⑦ 農林水産部	被災農家の営農再開 完了	大豆転作等で営農継続支援				営農施設・農地の復旧				R2.3末 営農再開率 99.8%	R3.3末 営農再開率 100%																		
		農家が自ら行う応急工事・簡易な復旧工事支援				農地の大区画化による創造的復興(秋津、阿蘇谷、乙ヶ瀬地区)																							
⑧ 企画振興部	大空港構想NextStageの実行 完了	「大空港構想NextStage」策定				H31.3 優先交渉権者決定	R1.7~ 運営権者によるビル事業開始	R2.4~ 運営権者による全事業開始	R2.4.7 国内線別棟ターミナルビル供用開始	R3.1 新ターミナルビル着工	R5.3.23 新ターミナルビルオープン	2027年度 工事着手 予定																	
		コンセッション方式導入表明				交通システムの比較検討、鉄道整備の概略調査				R2.12~ 空港アクセス検討委員会開催			R4.12 肥後大津ルートに整備方針決定																
	新ターミナルビルの整備等 完了	「大空港構想NextStage」策定				H31.3 優先交渉権者決定				R1.7~ 運営権者によるビル事業開始		R2.4~ 運営権者による全事業開始		R2.4.7 国内線別棟ターミナルビル供用開始		R3.1 新ターミナルビル着工		R5.3.23 新ターミナルビルオープン											
	空港アクセス鉄道整備	交通システムの比較検討、鉄道整備の概略調査				鉄道整備に関する基本的方向性をJR九州が同意				鉄道整備に関する詳細調査、国へ財政支援等要望				鉄道整備に関する詳細調査、国へ財政支援等要望				三里ルートに加え、原水ルート、肥後大津ルートの追加調査				R4.12 肥後大津ルートに整備方針決定				鉄道線形検討等の鉄道概略設計事前調査の実施、環境アセスメント等の手続きを実施			
⑨ 土木部 観光戦略部	八代港のクルーズ拠点整備 完了	H29.1 「官民連携による国際クルーズ拠点を形成する港湾」に選定	H29.7 「国際旅客船拠点形成港湾」に指定	H30.2 八代港クルーズ拠点形成協定の締結(国・県・RCL)	(国)クルーズ船専用岸壁(県)駐車エリア、屋根付き通路等(RCL)旅客ターミナル、おもてなしゾーン	H30.12 三者で基本計画発表	R2.3 くまモンポート八代完成	R2.10.31 プレオープン(県民向け公園として開放)	R3.10.23 フルオープン(土日のみ)	R4.4.1~ フルオープン(平日含)	三里ルートに加え、原水ルート、肥後大津ルートの追加調査 ⇒R4年中:調査結果公表																		
⑩ 観光戦略部	国際スポーツ大会の成功 完了	2019女子ハンドボール世界選手権大会				H30.11.30~ 12.9 アジア選手権大会				R1.11.30~ 12.15 本大会																			
		ラグビーワールドカップ2019				R1.9.20~11.2 本大会(10/6、13熊本会場)																							
⑪ 後世への継承 知事公室 観光戦略部	熊本地震震災ミュージアム 完成	中核拠点の整備				R1.9 震災ミュージアム基本計画策定				R2.8~ 震災遺構(旧東海大学の校舎・断層)の一般公開				旧東海大学 体験・展示施設の整備				2023年度 ・旧東海大学 体験・展示施設完成(R5.7.15オープン) ・防災センター 展示スペース完成											
		防災センター(1階)展示スペースの整備																											
⑫ 観光戦略部	ONE PIECE 熊本復興プロジェクト 完成	像の設置				ルフィ像(県庁)				サンジ像(益城町)ウソップ像(阿蘇市)				チョッパー像(熊本市)ブルック像(御船町)フランキー像(高森町)				ナミ像(西原村)ロビン像(南阿蘇村)ゾロ像(大津町)				ジンベエ像(宇土市)				2022年度 完成			
		南鉄全線再開				2023.7.22~ コラボ列車・サニー号				熊本の伝統文化・芸能とONE PIECEとのコラボ(地域の魅力創造プロジェクト)				2024.3.30~ ONE PIECE×清和文楽 定期公演開始															